

損益の状況（単体）

業務粗利益、業務純益、コア業務純益						
種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	7,651	153	7,805	7,657	286	7,944
役員取引等収支	296	2	298	287	2	289
その他業務収支	673	12	686	216	11	227
業務粗利益	8,622	168	8,790	8,161	299	8,461
業務粗利益率	1.29%	1.57%	1.31%	1.19%	2.15%	1.23%
業務純益			2,320			2,079
コア業務純益			1,619			1,909

- (注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引等は国際業務部門に含めております。
2. 業務粗利益率 = $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times \frac{\text{年間日数}}{\text{期中日数}} \times 100$
3. 業務純益は、貸出金・有価証券・預金などの利息収支である「資金運用収支」、為替・証券関連などの「役員取引等収支」、債券や外国為替等の売買損益などの「その他業務収支」の3項目を合計した「業務粗利益」から「貸倒引当金繰入額（一般）」と「経費（臨時経費を除く）」を控除したものです。株式の売却益や償却などの臨時損益は、業務純益には含まれておりません。
4. コア業務純益は、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券関係損益計上前の業務純益で銀行の本来業務から得られる利益を表すものです。

資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	(19,526) 1,330,578	(3) 7,926	1.18%	(26,011) 1,365,622	(4) 7,914	1.15%
資金調達勘定	1,342,047	274	0.04%	1,385,287	256	0.03%

- (注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成29年度中間期57,275百万円、平成30年度中間期64,851百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成29年度中間期3,000百万円、平成30年度中間期7,980百万円）及び利息（平成29年度中間期0百万円、平成30年度中間期1百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。

国際業務部門

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	21,242	165	1.55%	27,793	300	2.15%
資金調達勘定	(19,526) 21,286	(3) 11	0.11%	(26,011) 27,822	(4) 13	0.09%

- (注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成29年度中間期2百万円、平成30年度中間期2百万円）を控除して表示しております。
2. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。

合計

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	1,332,295	8,088	1.21%	1,367,404	8,209	1.19%
資金調達勘定	1,343,807	282	0.04%	1,387,099	265	0.03%

- (注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成29年度中間期57,278百万円、平成30年度中間期64,853百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成29年度中間期3,000百万円、平成30年度中間期7,980百万円）及び利息（平成29年度中間期0百万円、平成30年度中間期1百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. 国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息は、相殺し記載しております。

役員取引の状況

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役員取引等収益	1,131	6	1,137	1,145	6	1,151
役員取引等費用	834	4	839	858	3	862

受取利息・支払利息の増減

(単位 百万円)

国内業務部門

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 23	△280	△303	203	△215	△ 11
支払利息	6	△ 82	△ 76	8	△ 26	△ 18

国際業務部門

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	12	12	24	51	83	134
支払利息	0	0	1	3	△ 1	2

合計

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 24	△255	△279	210	△ 89	121
支払利息	6	△ 81	△ 74	8	△ 25	△ 17

(注) 1. 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法によっております。
2. 受取利息・支払利息は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息を相殺して記載しております。

営業経費の内訳

(単位 百万円)

種 類	平成29年度中間期	平成30年度中間期
給料・手当	3,460	3,465
退職給付費用	246	148
福利厚生費	119	122
減価償却費	360	380
土地建物機械賃借料	141	145
営繕費	57	61
消耗品費	129	108
給水光熱費	54	56
旅費	33	35
通信費	156	154
広告宣伝費	89	87
租税公課	477	367
その他	1,327	1,336
計	6,652	6,470

(注) 中間損益計算書中「営業経費」の内訳であります。

その他業務収支の内訳

(単位 百万円)

種 類	平成29年度中間期			平成30年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
外国為替売買損益	—	12	12	—	11	11
商品有価証券売買損益	0	—	0	0	—	0
国債等債券関係損益	700	—	700	170	—	170
その他	△ 26	—	△ 26	46	—	46
合 計	673	12	686	216	11	227